

〔信俊卿記〕明徳三年閏十月二日己卯今日南朝帝龜山以下有三種靈寶於御隨身令入洛御着御嵯峨大覺寺殿自今一向可有御在洛云云大内介籌策申入不思議事也云云五日壬午今日自嵯峨大覺寺殿三種靈寶渡御禁裏土御門東云々自今夜於内侍所被行三ヶ夜之御神樂依三種靈寶入洛也

〔續神皇正統記後小松〕明徳三年大樹義滿申沙汰にて南方龜山御和睦の事あり三種神器歸座あるべき御はかりごとにてこそ元曆鳥羽内侍所西海より渡御の例に任せらる日野中納言資教卿大納言に任じて申沙汰し十月廿五日陣にて日時を被勘閏十月二日南主龜山後夜に入て御入洛直に嵯峨大覺寺に渡御併主上行幸之儀にてぞまします御引直衣腰輿に駕御駕輿丁御輿長なども沙汰し獻せらる去月廿八日南山御所を出給ひて奈良を経まし〜てけふ二日御京着供奉人大略戎衣鎧直垂なり關白殿藤原とかやは御直衣なり内侍所御先行今日片時の御行粧ながら當朝兩主の御威儀こそめづらかなる御事にて侍れ同三日陣定にて同五日三種靈寶内裏土御門に渡御嚴重の御儀式にてぞまします今度御合體のこと宥申さる旨御契諾の儀もありけるにやとまれかくまれ靈寶御歸座まことに聖代のゑるしもあらはれ萬歳の寶祚は彌御たのもしうぞ侍る

〔皇年代略記後小松〕首書明徳三閏十月三日南方上龜山令和睦遷于大覺寺令駕三種神器同渡御同五日神器等奉渡于里内土御門東洞院

〔有職抄三〕神靈事

明徳三年十月廿五日大外記師豊記云此夕駕輿丁三十五人御輿長十人南朝ニ進セラル是三種神器ノ御迎也武家大内左京大夫義弘朝臣同ク御迎ニ參ルト云云閏十月二日今夜丑刻南朝帝龜山後御入洛賢所伴ヒ申サル嵯峨ノ大覺寺ニ着御ト云云同月五日今日三種神器嵯峨ノ大覺寺